

# 第 63 回関西油化学講習会（油技術講座）のご案内

## 主題：受賞に輝いた最先端の化粧品技術

本講習会では、学界や業界で第一人者としてご活躍の講師の方々に当該テーマについて平易に解説していただきます。様々な分野から多数のご参加をお待ちいたしております。奮ってお申し込み下さい。

- 主催 (公社) 日本油化学会関西支部  
協賛 日本化粧品技術者会  
日時 2022年12月2日(金) 10時00分～16時25分  
会場 大阪産業技術研究所 森之宮センター (〒536-8553 大阪市城東区森之宮 1-6-50)  
JR大阪環状線・地下鉄中央線または長堀鶴見緑地線「森ノ宮」駅下車、4番出口東へ300mの都市基盤整備公団と赤十字血液センターの間の角を北へ300m、森之宮小学校北隣。徒歩約10分。  
\*新型コロナウイルス感染症の感染状況によりオンラインライブ配信 (Zoom) に切り替える可能性があります。
- 参加費 (テキスト代を含みます。)
- |                     |          |
|---------------------|----------|
| 本会法人会員・協賛団体会員会社の勤務者 | 13,000 円 |
| 本会正会員               | 10,000 円 |
| 大学・官公庁所属の本会正会員      | 8,000 円  |
| 学生                  | 3,000 円  |
| 会員外                 | 20,000 円 |
- 申込先 〒535-8585 大阪市旭区大宮 5-16-1 大阪工業大学工学部応用化学科 超分子研究室内  
(公社) 日本油化学会関西支部 関西油化学講習会担当 村岡 雅弘  
Tel&Fax: 06-6954-4273 (ダイヤルイン)、E-mail: masahiro.muraoka@oit.ac.jp
- 申込方法 氏名、会員番号(正会員の場合)、勤務先、連絡先所在地、電話番号、メールアドレスを明記の上、村岡までメール (masahiro.muraoka@oit.ac.jp) でお申し込み下さい。第 63 回関西油化学講習会のホームページ (<https://forms.gle/VQEodY4XunkwDau8>) からの申し込みも受付けています。参加費は締切日までに銀行振込で前納して下さい。なお、納入された参加費は返金いたしかねますので、予めご了承下さい。  
銀行振込先：池田泉州銀行大宮町支店・普通預金口座 78953  
公益社団法人日本油化学会関西支部事務局
- 申込締切 2022年11月18日(金) [定員 70名：先着順]

プログラム：

開会の辞 (10:00～10:05)

### 1. 「紫外線照射により毛髪から発生する短鎖アルデヒド類の同定および定量」 (日本化粧品技術者会 2020年度 SCCJ 誌 奨励賞)

中野製薬(株) 研究開発本部 堀部 一平 氏 (10:05-10:55)

不飽和脂肪酸は、酸化されることで過酸化脂質となり最終的にアルデヒドを形成するため、生体に対して様々な悪影響を及ぼすと考えられる。毛髪には、0.2～1.3%ほどの不飽和脂肪酸が含まれており、紫外線やヘアカラーなどによる酸化環境下では、不飽和脂肪酸などの酸化による毛髪ダメージが懸念される。本講演では、紫外線照射によって毛髪から発生する揮発性アルデヒドを分析する手法の開発とその分析結果、及び応用例についてご紹介する。

## 2. 「角層高浸透を実現する擬似セラミド液晶化製剤の開発」

(日本化粧品技術者会 2019 年度 SCCJ 誌 最優秀論文賞)

花王 (株) ハウスホールド研究所 溝口 圭衣子 氏 (11:10-12:00)

乾燥に負けない潤った肌を実現するため、バリア能の向上をねらい、擬似セラミドを角層深部まで高浸透させる擬似セラミド液晶化製剤を開発した。擬似セラミド/アルケニルコハク酸コレステリル脂質ベシクルは、室温下広い組成領域で液晶を形成し、塗布後液晶を維持し続けた。その結果、 $\alpha$ ゲル製剤と比較して擬似セラミドを角層内に約2倍送達させることに成功した。今回、本技術開発について紹介する。

## 3. 「瞼の加齢変化と動きに対応したアイメイク製品の開発」

(日本化粧品技術者会 2020 年度 SCCJ 誌 最優秀論文賞)

(株) コーサー 研究所 メイク製品研究室 萩野 亮 氏 (13:20-14:10)

目周りはくすみ、たるみ、しわなどの加齢変化による悩みが顕著な部位である。アイメイク製品によりツヤを付与することで見た目の印象を改善させる手段が考えられるが、従来のツヤ付与製剤ではまばたきの動きにより、化粧持続性に課題があった。本講演では、化粧品油剤をツヤ高く、かつ動きに耐えうる弾性ゲルに変化させるポリウレタン構造の油ゲル化剤の開発と、それを用いたアイシャドウ製剤について紹介する。

## 4. 「嗅覚受容体技術を用いた悪臭低減香料の開発」

(国際化粧品技術者会連盟横浜大会 2020 最優秀ポスター賞)

高砂香料工業 (株) 研究開発本部 三原 尚 氏 (14:25-15:15)

生活様式の多様化や環境の変化に伴い様々な悪臭問題が顕在化している。嫌な臭いに対する問題意識は一層高まり、特に体臭ケアへの消費者の要望は根強い。また加速する超高齢化に伴い、介護現場の臭気問題は深刻さを増しており、そのケアが大きな課題となっている。今回、体臭の中でも加齢臭、腋臭、更に糞便臭と体臭からなる介護臭などの悪臭に対し、最新の嗅覚受容体制御技術を用いた悪臭低減香料の開発について紹介する。

## 5. 「マスクや衣服などへの化粧品付着を防ぐ新技術」

(国際化粧品技術者会連盟カンクン中間大会 2021 最優秀ポスター賞)

日本ロレアル (株) リサーチ&イノベーションセンター 河西 毅彦 氏 (15:30-16:20)

我々の調査によると、多くの方がマスク、衣服などへの化粧品移りに悩まされている。特に、Covid-19 でマスクに対する化粧品の防汚性は重要となってきた。しかし、エマルションの外相に顔料を含んでいる化粧品は付着を起こしやすい。この問題を改善するため、顔料や紫外線吸収剤が直接外部と接触することを防ぐ技術 PGP (Polyion complex Gel Particle) を導入した。今回はこの技術の背景に関して紹介する。

閉会の辞 (16:20~16:25)